

1. 科目名（単位数）	家庭科指導法（2 単位）	3. 科目番号	SJEL3433 EDEL3319
2. 授業担当教員	石橋 和子		
4. 授業形態	講義、演習、プレゼンテーションなど	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	春期科目「家庭」を履修後の受講が望ましい。		
7. 講義概要	生活の営みに係る家庭科の教科としての意義や、小学校家庭科の目標、内容と全体構造、基礎的な学習指導理論に基づいた指導方法などについて、平成29年告示の最新版をもとに教授する。さらに実際の家庭科学習の在り方を、具体的な学習指導計画や学習指導案などの作成を通して、実践的に検討し提案する。		
8. 学習目標	1. 小学校家庭科の特質とその役割を知り、指導対象となる児童の生活実態や家庭科学習に関する背景的要因などを理解する。 2. 小学校家庭科の授業計画を構想し、具体的な学習指導計画や学習指導案、授業展開、評価などができるようになる。授業設計に際し、家庭科の特性を活かした情報機器及び教材の効果的な活用法を工夫する。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	家庭科学習指導案等を作成し、模擬授業を実施する。 レポート課題は授業中に説明がある。		
10. 教科書・参考書・ 教材	文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 家庭編」 東洋館出版 検定教科書「わたしたちの家庭科5，6」 開隆堂		
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 1. 小学校家庭科の特質とその役割を知り、指導対象となる児童の生活実態や家庭科学習に関する背景的要因などを理解しているか。 2. 小学校家庭科の授業計画を構想し、具体的な学習指導計画や学習指導案、授業展開、評価などができるか。授業設計に際し、パワーポイントなどの情報機器や教材の効果的な活用法を工夫しているか。 ○評定の方法 授業態度 30％ 提出物（模擬授業など演習課題を含む）70％		
12. 受講生への メッセージ	毎時間、教科書、解説本を持参してください。 模擬授業の実施により小学校家庭科教育の指導力を養成する講座です。意欲的に取り組んでください。		
13. オフィスアワー	授業時に連絡する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	小学校家庭科の目標、指導内容の概要 インクルーシブ教育	事前学習	家庭科教科書、学習指導要領を読む
		事後学習	授業内容のレポート作成
第2回	学習指導要領の特色とアクティブな家庭科教育	事前学習	学習指導要領の指定箇所を読む
		事後学習	授業内容の復習
第3回	家庭科指導計画の作成と内容の取扱い	事前学習	小学校家庭科の指導計画の関連ページを読む
		事後学習	指導計画の確認
第4回	家庭科の授業設計と食生活領域の内容	事前学習	学習指導案の構成を準備する1
		事後学習	授業内容を確認し、自身の指導案の改善1
第5回	家庭科の授業設計と衣生活領域の内容	事前学習	学習指導案の構成を準備する2
		事後学習	授業内容を確認し、自身の指導案の改善2
第6回	家庭科の授業設計と住生活領域の内容	事前学習	学習指導案の作成を充実する
		事後学習	授業内容を確認し、自身の指導案の改善3
第7回	家庭科の授業設計と消費生活・環境領域の内容	事前学習	学習指導案の作成を充実する
		事後学習	授業内容を確認し、自身の指導案に生かす
第8回	家庭科の授業設計と家族・家庭生活領域の内容	事前学習	学習指導案に基づく発表を準備する1
		事後学習	授業内容を確認し、模擬授業案の改善充実1
第9回	家庭科の学習評価と指導改善	事前学習	学習指導案に基づく発表を準備する2
		事後学習	授業内容を確認し、模擬授業案の改善充実2
第10回	学習指導案の作成、ICT 機器教材の活用	事前学習	学習指導案を修正し、発表を準備する
		事後学習	授業内容を確認し、模擬授業案の改善充実3
第11回	模擬授業の実施、研究協議1	事前学習	自身の模擬授業を準備する1
		事後学習	発表者は振り返り、他者の授業評価レポートまとめ
第12回	模擬授業の実施、研究協議2	事前学習	自身の模擬授業を準備する2
		事後学習	発表者は振り返り、他者の授業評価レポートまとめ
第13回	模擬授業の実施、研究協議3	事前学習	自身の模擬授業を準備する3
		事後学習	発表者は振り返り、他者の授業評価レポートまとめ
第14回	模擬授業の実施、研究協議4	事前学習	自身の模擬授業を準備する4
		事後学習	発表者は振り返り、他者の授業評価レポートまとめ
第15回	小学校家庭科教育のリフレクション総括	事前学習	小学校家庭科教育について該当頁を読む
		事後学習	リフレクションレポートの作成